徳山	工業高等	事門学校	開講年度	令和03年度 (2	2021年度)	授業科目	日本語表現法		
科目基础		XI LILL	עוד נייוון ן				H-T-8H-2X-70/A		
科目番号		0003			科目区分	一般 / 必	/ 必修		
授業形態		講義			単位の種別と単位				
開設学科		1111111	 『工学専攻		対象学年				
開設期		後期	12137		週時間数				
教科書/教	 女材	指定なし	,		週時間数				
担当教員			秀,菊地 右馬,山本 晋	也					
到達目	票		-,,						
	成や組み立	てを意識して	文章を作成すること	こ、実作と添削の中	で各自が文章作成は	こあたっての自己	己の課題点を見つけそれを解決するこ		
ルーブ	リック								
			理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベ	いの目安	未到達レベルの目安		
評価項目 1 文章構成や文の原則を正しく理解 する			事項を理解し、	文章作成・構成に関する基本的な 事項を理解し、より論理的な小論 文を書くことができる。		関する基本的な 、論文を書くこと			
評価項目 2 根拠のある意見を論理的に表現す			意見の裏づけとな	意見の裏づけとなる根拠を資料を 正しく用いて、自身の意見を論理 的に書くことができる。		る根拠を資料を 1身の意見を集約 できる	意見の裏づけとなる根拠を資料を 正しく用いて、自身の意見を集約 し表記することができない。		
<u>る</u> 学科の	到读日梅T	 頁目との関		CC.90	し表記することが	C ⊆ .⊘°	しな品が必じたができない。		
子作の: 到達目標		ュロこの送	不に						
到達日信 JABEE f	A 2								
教育方法	 法等								
概要		・日本語分析・読	表現能力を確認し自	覚することから始 な文章を書くため	める。また、論理力 の基礎的な事項を理	フを高めるための	を目標とする。まず、自身の日本語力 り準備として、文の構成や組み立ての 成める。そして、小論文の作成と添削		
授業の進	め方・方法	用してい	く。原則として毎時	・ 文章作成の課題	があるため、その作	F成と見直しが打	る。また、小論文作成によって実践応 受業の予習・復習として必須である。		
注意点		受検を奨					ド力を確認するため「日本語検定」の 6		
授業の	属性・履何	多上の区分)						
☑ アクラ	ティブラーニ	 :ング	□ ICT 利用		☑ 遠隔授業対応		□ 実務経験のある教員による授業		
					•				
授業計	画								
		週	授業内容		j	週ごとの到達目	標		
後期		1週	授業の概要と進めアレポート、小論文、			シラバスを用いて、授業概要、到達目標、成績評価が法を理解することができる。 レポート、小論文、作文の違いを、説明することができる。 きる。 文章構成の基礎である、「型」と「形式」について再確認する。			
		2週	読解要約(1)		Ī	読解要約の基礎を学び、理解する。読解要約の課題に 取り組む。			
	3rdQ	3週	読解要約(2)		;	前時の課題から、それぞれの改善点に気づくことができる。また、気づいた点をもとに、書き直しを進めることができる。 青報を得るための手段を検討し、情報のまとめ方のアイディアを出し合う。			
		4週	読解要約(3)		į	読解要約の進め方について理解し、適切な文章が書 <i>に</i> るようになる			
		5週	意見文(1)		1	作成の課題に取	見文作成の基礎を学び、書き方を理解する。意見; 成の課題に取り組む。		
		6週	意見文(2)		;	自身の作成した; また、気づいた; できる。	の作成した文章の改善点に気づくことができる。 - 、気づいた点をもとに、書き直しを進めることが - る。		
		7週	意見文(3)			意見文の書き方 ようになる。)書き方について理解し、適切な文章が書ける よる。		
		8週	課題小論文(1)		-	課題小論文の類型を学び、書き方を理解する。			
	4thQ	9週	課題小論文(2)		Ī	前時の内容を踏まえ、課題小論文の作成に取り組む。			
		10週	課題小論文(3)			作成した課題小論文をもとに、グループで話し合い改善点に気づく。			
		11週	課題小論文(4)		-	牧善点をもとに、適切な課題小論文を作成することができる。			
		12週	課題小論文(5)			これまでの学習内容を踏まえ、新たな課題小論文に取り組む。			
		1	1		1.	エントリーシートに頻出する項目について理解し、書き方のフォーマットを学ぶ。			
		13週	エントリーシート	(1)					
		13週	エントリーシート		Ī	前時の内容を踏 組む。	ットを子か。 まえ、エントリーシートの作成に取り リーシートをもとに、グループで話し		

	16	週 担	受業の振り返りと	まとめ			これまでの学習内容を振り返り、文章作成に関するF 身の学びを総括する。						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標													
分類	分類 分野 学習内容			学習内容の到達目標				到達レベル	授業週				
		国語		論理的な文 きる。	章(論説や評論)の構成	や展開	開を的確にとらえ、要約て	4					
				論理的な文 妥当性の判	章(論説や評論)に表さ 断を踏まえて自分の意	れた ^ま 見をi	考えに対して、その論拠の 述べることができる。	4					
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。			4						
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。			4						
基礎的能力				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。			4						
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。			- 4						
				専門の分野	に関する用語を思考や	表現(こ活用できる。	4					
	人文・社会 科学		国語	実用的な文 を用いて作	章(手紙・メール)を、 成できる。	相手や	や目的に応じた体裁や語句	4					
	14-5-			報告・論文 情報を収集		物、-	インターネットから適切な	4					
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。			4						
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。			5 4						
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口 頭発表することができる。			4						
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。			4						
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。			١ 4						
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理 するための手法を実践できる。			4						
評価割合													
小論文			小論文準備シート グル		レープ・ペアワーク 合計								
総合評価割る	<u></u>	60		20		20		100					
総合的能力		60	60		0 2			100					